

一 般 質 問 日 程

9 月 15 日 (火) Am 9 : 0 0 ~

1 . 唐澤 克己 議員

2 . 武田 篤子 議員

3 . 前沢 光昭 議員

4 . 唐 澤 健 議員

5 . 堀本 丈文 議員

6 . 壬生眞由美 議員

7 . 武 田 徹 議員

8 . 吉川 明博 議員

令和8年豊丘村議会9月定例会 一般質問通告一覧

受付 番号	質 問 者	質 問 事 項
1	唐澤 克己	1. 環境保全対策としての森林や山林の整備について 2. 一人暮らしの高齢者の支援について
2	武田 篤子	1. トイレのウォシュレット化について
3	前沢 光昭	1. 自衛隊への名簿提供について 2. 災害時の水環境について
4	唐 澤 健	1. 2050年ゼロカーボン化の実現について
5	堀本 丈文	1. 豊丘村境界付近の案内看板について
6	壬生眞由美	1. 森林整備の課題について
7	武 田 徹	1. 河野地区の事業の現状と今後の予定について
8	吉川 明博	1. 自治体における生成AIの適正利用について

令和8年8月18日

豊丘村議会議員 平澤恒雄 様

豊丘村議会議員

唐澤光己



一般質問通告書

質問事項	質問の要旨	質問相手
1 環境保全対策としての森林や山林の整備について	温暖化の進行防止など、地球環境保全に果たす森林や山林の役割は絶大なものがあります。それ故に、県では森林づくり県民税、また、国では森林環境税といった永続的な財源措置を設け、森林や山林整備の推進を企図しております。しかし、残念ながら現在のところ目に見えた効果が現れるどころか、国の内外で、猛暑干ばつ、山林火災、大雨洪水、台風襲来などの災害が常態化し、その規模も拡大し続けています。状況はどうであれ、災害の根本的な解決には、世界のそれぞれの地域で、できることを地道に着実に実践していくより他はないとの信念に基づき、質問いたします。 (1) 村の山林整備にかかる資金は、年総額およそどの位か。 (2) 山林整備を実施していくうえで、困難に感じる点は何か。 (3) 今年度の山林整備計画は、どのようになっているか。 (4) 背後に空気(酸素)を生み、水を与えてくれる山林が豊かに控える本村は、かけがえのない自然の宝に恵まれていると考える。こうした宝を未来永劫に保全していくことは、村にとって大きな責務と考えるが、担当課としての考えはどうか。	産業振興課長 産業振興課長 産業振興課長 産業振興課長
2 一人暮らしの高齢者の支援について	少子高齢化の進行で、近年一人暮らしの高齢者が増えております。そうした折、つい最近、私の身近で、亡くなられてから数日後に発見された、いわゆる孤独死の方が複数おられました。私は、その方々の生前に思いをはせ、少なくとも孤独死という事態は防げないものかと、大変なショックを受けたものです。どなたにとりましても人生の終末は、可能であれば周囲や関係者の方々ができる限りの手を尽くせる環境下で、当人の方には人間社会の温かさにしっかりと触れ、安らかに永眠していただけるような体制の構築がぜひとも必要と感じました。こうした視点に立ち、一人暮らしの高齢者への支援を今一度考えてみたいとの思いで、質問いたします。 (1) 現時点で、村内に一人暮らしの高齢者の方はどのくらいおられるか。 (2) 村として、一人暮らしの高齢者の方の状況把握はどのようにされているか。 (3) 村として、孤独死を防ぐ具体策はとれるのかどうか。	健康福祉課長 健康福祉課長 健康福祉課長



令和 8 年 8 月 18 日

豊丘村議会議員 平澤 恒雄 様

豊丘村議会議員

武田 篤子

一般質問通告書

次の通り通告します。

NO. 1

質問事項	質問の要旨	質問相手
1 トイレのウオシュレット化について (5) 提言	現代では、ほとんどの家庭は、トイレが洋式化され、温水洗浄便座、いわゆるウオシュレットがついていると思います。また公共施設や、高速道路のパーキングエリアのトイレでも最近ではウオシュレット付き便器は当たり前となっております。 そこで、学校や、公共施設、避難所のトイレウオシュレット化の状況と今後についてお聞きしていきたいと思います。 (1) 現在、学校でのトイレ洋式率は 65%ほどですが、ウオシュレットがついたトイレはどのくらいあるのか伺う。 (2) 令和 8 年度予算の中に、中学校の特別教室棟、南小学校の外トイレの洋式化の予算を盛り込んであった。今回の改修工事において、ウオシュレットを設置する予定があるのかどうかについて伺う。また今後、学校の洋式トイレをウオシュレット化する予定があるのかどうかについて伺う。 (3) 公共施設や、避難所のウオシュレットの現状はどのようなになっているのか伺う。 (4) 公共施設や避難所のウオシュレット化について、今後についてはどのように考えているのか伺う。 (5) 日中のほとんどを過ごす学校で、子どもたちが便意をもよおすこともあるかと思えます。 そんな時、ウオシュレットがないからということで、排便を我慢してしまえば、おなかが痛くなることにもなりかねません。我慢することで便秘や授業への集中力低下を招いたりします。女子生徒においては、月のものがあり、不快な時もあり清潔にしたいと感	教育委員会事務局 局長 教育委員会事務局 局長 総務課長 総務課長

	じることもあるかと思ひます。学校のトイレへウォシュレットの設置を考へていつていただきたい。併せて、避難所についても考へていつてほしい。 (6) 今後、学校や、避難所などのトイレにウォシュレットを設置することについての考へを伺う。	村長
--	--	----

令和 8 年 8 月 18 日

豊丘村議会議長 平澤恒雄 様



豊丘村議会議員 前沢光昭



一 般 質 問 通 告 書

次の通り通告します。

NO.1

質問事項	質問の要旨	質問相手
1 自衛隊への名簿提供について	18 歳と 22 歳になる住民の名簿を自衛隊へ提供している件について質問します。 自衛隊は新規入隊者を得るため、自衛隊法 97 条に基づき地方自治体へ名簿提出を求めてきます。「法」では法定委託事務とされており、住民基本台帳の名簿公開となります。 (1) 以前も質問していますがそのときは、名簿はデータで提供しているという事でした。現状は紙ベースかデータ提供か伺います。データでは取り扱いの危険も指摘されています。 (2) 名簿提供を年齢対象者、または家族の同意を得ているか、情報提供を望まない本人や保護者から、名簿提供の「除外申請（申出）」出来ることになっており対象者は提供を拒否することが出来る。今後考える気はないか。	総務課長 総務課長
2 災害時の水環境について	近年は大災害が頻繁に発生しています。2 年前の能登地震とそれに続く大規模水害。最近では熊本で大地震。千葉県の大規模水害。 災害時一番困るのは、水、食料、トイレ。生活用水の確保は課題となります。 問題は災害によってライフラインの破壊される可能性があることです。災害の激甚化、頻繁化している状況をとらえて、昨年 3 月に国交省と内閣官房水環境政策本部が「災害時地下水利用ガイドライン」を示しました。 豊丘村では今年度事業で、地域の井戸水の調査	

	を行い「災害時登録井戸」として進めています。 登録された方には無料で水質検査を行っています。国のガイドラインは災害時の代替え水源確保のための実効的な取組推進のためとしています。 (1) この国のガイドラインと村の事業の狙いと説明、違いについて伺います。 (2) ガイドラインの「概要」でも個人、企業の既設の井戸湧水となっているが村の調査の結果は。豊丘村では行政と企業の連携も進められているが実際の協定の中で生活用水の確保などは可能なのか。 (3) ガイドラインの概要や得られたデータの実際の運用はどうなるか。地域ごとへのアドバイス等はあるのか。	総務課長 総務課長 総務課長
--	---	-------------------------------------



令和 8 年 8 月 19 日

豊丘村議会議長 平澤恒雄様

豊丘村議会議員

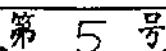
唐澤 健 

一般質問通告書

次の通り通告します。

NO.1

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 2050 年ゼロカーボン化の実現について	1) 豊丘村はゼロカーボンシティ宣言はしていないが、長野県が表明した「気候非常事態宣言ー2050 ゼロカーボンへの決意」に、県内 77 市町村の一つとして賛同している。	総務課長
	2050 年ゼロカーボン化についての認識はどうか。	
	2) 村の太陽光発電設備、蓄電池の対象者はどうなっていますか。	建設環境課長
	3) 国では、クリーンエネルギー自動車導入促進補助金として、EV・軽 EV・PHEV・FCV 購入補助金が出ています。どのような内容ですか。	総務課長
	4) 下伊那郡では飯田市、喬木村で、2050 年ゼロカーボン化の実現を目指して、ゼロカーボン推進補助金として、太陽光発電設備、蓄電池、太陽熱温水器や EV・PHEV 購入補助金を個人と事業者に出しています。村も同様の補助金を検討願いたい。	村長



質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 豊丘村境界付近の案内看板について	村外の道路には、特に国道には豊丘村の位置や方向、豊丘村の名所(主に道の駅)を示す案内看板があります。また、村境には「ここから豊丘村」と知らせる案内看板があります。 どちらも、豊丘村を知らせる重要な案内看板と認識しています。 (1)そこで、今後検討が必要ではないかと思われる案内看板と、検討が必要と思われる個所について、村の意向の確認と私からの提案をさせていただきます。 まず、国道153号線山吹交差点北側の道路脇の竹林に設置されている案内看板について、村の意向をお聞きします。 ①現在、万年橋から豊丘村への案内を目的に設置されており、村の名所等を案内していますが、内容が一部変更が必要になっており、また周辺の竹林除去ができておらず、残念な状態になっています。 この状況は村でも承知しており検討中ということですが、今後の対応について聞かせてください。 竜神大橋完成後に撤去予定の万年橋からの案内は必要なく、現状の位置では竜神大橋からの案内としては、3つ目の信号(見込み)左折となり現状の位置での案内は終了したと考えます。また、せっかく投資した案内看板なので廃棄ではなく移設の考えがあるのでしょうか。 ②竜神大橋が令和9年3月完成とされています。竜神大橋からの案内看板について必要であり、また松川町側からだけでなく、道路改良が進み「やすらぎ荘」側からの流入を見込む南側からの案内看板も必要ではないでしょうか。設置の検討はしていますか。	産業振興課長 産業振興課長

(2)次に、村境の案内看板の設置についてお聞きします。 主要道路から近隣の町村から繋がる路線は、広域農道から、喬木村より1カ所。県道伊那生田飯田線から、喬木村と松川町より2カ所。竜東一貫道路から、喬木村より1カ所。天竜川を挟む橋から、明神橋、万年橋、台城橋の3カ所です。 そして、来年には竜神大橋が増えて、万年橋が減ります。 それぞれに、意味のある位置にあり重要な案内ポイントと感じています、そこでそれぞれに村の意向をお聞きします。 なお、台城橋からの表示については、今回はお聞きしません。	
①まず、喬木村からの広域農道での境界個所ですが、見通しが悪く雑木林の中、「豊丘村」の表示はありますが、豊丘村の中上段の果樹団地の入口として『アルプスを望む豊かな果樹団地の広がる豊丘村によろこそ』等の紹介を兼ねた看板が必要ではないでしょうか。来年完成する、クライנגルテンに繋がる路線です。	産業振興課長
次に県道伊那生田飯田線の2カ所について、喬木村側からは一貫道路に大型車両が流れ通行車両は普通車両主体となり、松川町からは新宮ヶ瀬橋が完成し生活車両が増えたように思えます。ここには、若者定住・子育て世帯への支援策を宣伝する看板等はどうでしょうか。明神橋についても、竜神大橋完成により大型車両が減り普通車両が主体となる事が予想されるので、同様の看板はどうでしょうか。	総務課長又は子ども課長
そして、一貫道路の喬木村から繋がる個所と竜神大橋から繋がる個所です、産業振興の中心となる個所なのでその向きの紹介はどうでしょうか。一貫道路の喬木村からの位置には工場団地の看板はありますがもう少し足して良いと思いますが。また、竜神大橋は新しい村の顔となりうる個所と思いますが、村総合振興計画の題や新しい村のキャッチフレーズ等でも良いと思いますがどうでしょうか。	産業振興課長、総務課長
②最後に、私は教育委員会にて所蔵している北島先生の柔らかく暖かい画風が好きです。その看板のデザインに絵画しても良いものかお聞きします。私は、村を出る側の看板デザインに最適だと思います。	教育長
また、看板のデザインとして使用したいという考えはありますか。	村長



令和 8 年 8 月 19 日

豊丘村議会議長 平澤 恒雄 様

豊丘村議会議員

壬生 真由美

一 般 質 問 通 告 書

次の通り通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
1.森林整備の課題について	豊丘村の面積は 7,700ha で、その 81%を森林が占めています。国では森林の公益的機能を重視し、令和 6 年度からは国税として一人年額 1000 円の森林環境税が市町村で住民税の均等割りとして賦課徴収されています。 気候危機ともいわれる昨今、地球の肺としての森林の機能を維持するためにも、適切な整備が急がれます。村は山林所有者への森林経営管理制度に対する意向調査を進め、民有林 3,350ha のうち 607ha で完了し、その中で 420ha が村へ森林経営管理を希望されているということです。また、意向調査を進める一方で、伐採から搬出、製材、販売に関わる経費と売上の採算が合わないなど、経営管理の委託先を見込めない状況です。総務産建委員会では昨年、村の事業として三次原の間伐による森林整備や黒谷線森林保全事業の現場を視察させていただきました。採算性の問題以前に現場に携わる人材不足は深刻で、飯伊森林組合においても豊丘班は 4 人から 2 人になり、黒谷線現場では喬木など他班から応援していただく状況とお聞きしました。 (1)林業の担い手としての地域おこし協力隊について 村では飯伊森林組合と連携し、地域おこし協力隊制度で林業従事者の育成とサポートを行なうとしていますが、残念ながら 6 年度末の公募開始から応募が無いとお聞きしています。収穫までのスパンが長く、技能要求度と共に危険度も高い林業を選択するには、フィールドとしての森林と関わる魅力ややり甲斐など広報の対象、周知イベントの開催など募集方法も重要です。今後の見通しはいかがでしょうか。 (2)自伐型林業と人材の確保について 自伐型林業とは従来の面的な森林施業管理ではなく、小	産業振興課長

令和 8 年 8 月 19 日

豊丘村議会議長 平澤恒雄 様



豊丘村議会議員 武田 徹



一 般 質 問 通 告 書

次の通り通告します。

NO. 1

質問事項	質問の要旨	質問相手
河野地区の事業の現状と今後の予定について	河野地区では、5 月にりんごっ子公園のリニューアルオープン、長年の悲願であった竜神大橋の供用開始、新たな取組みの勝負平クラインガルテンの開園等大型事業が進み、実際の利用、使用が始まってきます。そこでこれら事業の現状と今後について伺います。	
	・りんごっ子公園について	建設環境課長
	(1) 5 月 1 日に竣工式、オープンを迎え 5 ヶ月を迎えます。連休中には大変多くの方が訪れ、連日の賑わいを見せていました。設置後の点検等も行われているのか。また今後の予定はどうか。	
	(2) 維持管理については、区の対応となり、各自治会に割り当て行っているが、8 年度事業として、西側の土手部分の改修が計画されているが、予定はどうか。	
	・竜神大橋について	建設環境課長
	(1) 長年の懸案であった天竜川架橋、来年 3 月の供用開始に向け、県での発注状況や進捗はどうか、また村で行う事業はどうか	
	(2) 供用開始後交通量の増加が予想されます。法人「河野新田」の総会の折にも出されましたが、春、秋の農作業時の交通安全対策について、何らかの検討ははじめているか	産業振興課長
	(3) 竜神大橋の開通により、豊丘村へ住宅地を求める人も予想されます。その意味でも八王子の住宅団地計画は、地元としても大い	産業振興課長

	に期待をしていましたが、計画が中止となりました。新たな候補地について地元と協議する予定はどうか。また、中止となった土地の今後の活用についてはどうか ・クラインガルテンについて (1) 工事の遅れにより、大幅な変更を余儀なくされたクラインガルテンの、現状と今後の予定（募集から利用開始まで）は (2) この延期を準備期間と捉え、特に農地の耕土についてどのように考えているか (3) 地元運営委員の皆さんとの打ち合わせや、草刈り作業等を行っていく中で出された、今後の課題等はあるか これら事業の、今後の維持、さらなる発展には地元との連携が、重要と考える。完了したら後は関係者にお任せとならないよう、村、担当者、担当課の十分なバックアップについて村長の考えは	産業振興課長 村長
--	--	-------------------------

豊丘村議会議長 平澤恒雄 様

豊丘村議会議員 吉川明博



一般質問通告書

1/2

8.8.19

第8号の通り通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
自治体における生成AIの適正利用について	近年、国や総務省において自治体業務への生成AI活用が強く推進されております。村においても業務効率化や職員負担軽減の観点から、適切なルール整備が求められると考えます。そこで以下について伺います。 〔質問〕 - 生成AIの利用範囲について 生成AIは、文書作成、広報、企画立案、データ整理など、行政事務の効率化に資する一方、個人情報や機密情報の取り扱いには十分な注意が必要です。村として、どの業務を「利用可能」とし、どの業務を「利用禁止または慎重な利用」と位置付ける方針をどのように整理しているのか伺います。 - 情報の取り扱いと入力禁止情報について 生成AIに入力してはならない情報として、個人情報や未公表の内部資料などが挙げられます。村として、入力禁止情報の範囲をどのように定義し、職員に周知していくのか伺います。 - 職員による利用手順の整備について 生成AIの利用にあたっては、目的の明確化、入力内容の確認、出力結果の職員によるチェックなど、一定の手順が必要です。村として、職員が遵守すべき利用手順をどのように整備し、研修等を通じて定着させていくのか伺います。 - リスク管理体制について 生成AIには誤情報の生成、著作権上の問題、偏った表現などのリスクがあります。村として、これらのリスクをどのように管理し、チェック体制を構築するのか伺います。 - 組織体制の構築について 生成AIの適正利用には、責任者の設置や相談窓口の明確化など、組織的な体制が必要です。村として、AI活用に関する責任者や窓口をどのように設定し、各課との連携をどのように図るのか伺います。 - ログ管理・記録の取り扱いについて（資料参照） 生成AIの利用状況を把握し、適正利用を担保するためには、利用目的や入力内容の種類、確認者などの記録が有効です。村として、ログ管理や記録の仕組みをどのように整備するのか伺います。（試作管理表参照） - 住民への説明責任について 生成AIの利用に対して住民の理解を得るためには、個人情報を入力していないことや最終判断は職員が行うことなど、適切な説明が必要です。村として、生成AIの利用に関する住民への説明をどのように行う考えか伺います。 - ガイドラインの更新について 技術の進展や国の通知に応じて、ガイドラインは定期的な見直しが必要です。村として、生成AI利用ガイドラインをどのような頻度で見直し、改善していくのか伺います。 - 生成AI活用に係る予算措置について 生成AIの適正利用を進めるためには、研修費、システム利用料、セキュリティ対策費など、一定の予算措置が必要になると考えます。村として、生成AI活用に必要な予算をどのように見積もり、どのような方針で確保していくのか伺います。	総務課長

